

明治11年

現在

中区南部の知られざる歴史

～古渡村から金山へ～

『古渡』は古代の「東海道」や中世の「鎌倉街道」が通っており、当時の尾張の中心地域のひとつでした。江戸時代には名古屋と熱田の間で森も点在する地域でした。

戦後は『古渡』の南半分ほどが『金山』という地名になり、名古屋の副都心へと変貌。

『金山』は都市計画によってつくられた街なのです。

なぜ『金山』だったのでしょうか？「金山神社」の名前から付けられたという説が多いのですが、さてどうでしょう？

国土地理院地図



講師 **杉野 尚夫 氏**
OASIS都市研究所 代表

1942年生まれ、三重県鈴鹿市出身。
名古屋大学大学院工学研究科修了。
1967年名古屋市に就職。
企画課長、市民文化部長、昭和区長などを経て定年退職。
退職後OASIS都市研究所設立。
現在、中日文化センター、名古屋市鯉城学園講師など。
著書は、『中部の土木史』『都市計画総論』『新都市計画総論』『名古屋地名ものがたり』『名古屋地名さんぽ』など。



焼失前の東別院本堂



金山総合駅

令和8年

11月3日 火・祝 [13時開場]
13時30分～15時
名古屋市中区役所 中区役所ホール

〒460-8447 愛知県名古屋市中区栄四丁目1番8号

※公共交通機関でお越しください。(地下鉄「栄」駅⑫番出入口より東50m)

**入場
無料**

募集人数 500人
事前予約不要

先着200名様に
おからドーナツ
プレゼント!!

お問い合わせ先 名古屋市中区役所地域力推進課

TEL:052-265-2225 FAX:052-261-0535 E-mail:a2652221@naka.city.nagoya.lg.jp